

① 部落差別(同和問題)ってなに?



部落差別(同和問題)って言葉は聞いたけど、これってなんだろう?



部落差別とは、生まれた場所や住んでいる場所などを理由にして差別することで、日本だけにある差別なんだ。今でも差別があることで、傷ついたり、不安に思ったり、怒っている人がいるんだよ。



わたしは差別しないよ。



差別は「する・しない」だけの問題じゃなくて、社会の中に「ある」ものなんだよ。だから、誰でも、いつ差別に出会うかわからない。部落差別は人がつくったものだから、みんなで力を合わせて解決しないとイケないんだ。大事なものは、差別について正しく知ること。そして、どうすればなくせるかを、みんなで考えて行動することなんだ。



大人の人たちが「学校で教えるから部落差別がなくなるよ」と言ってたよ。そっとしておけば、そのうち部落差別はなくなるんじゃないかな?

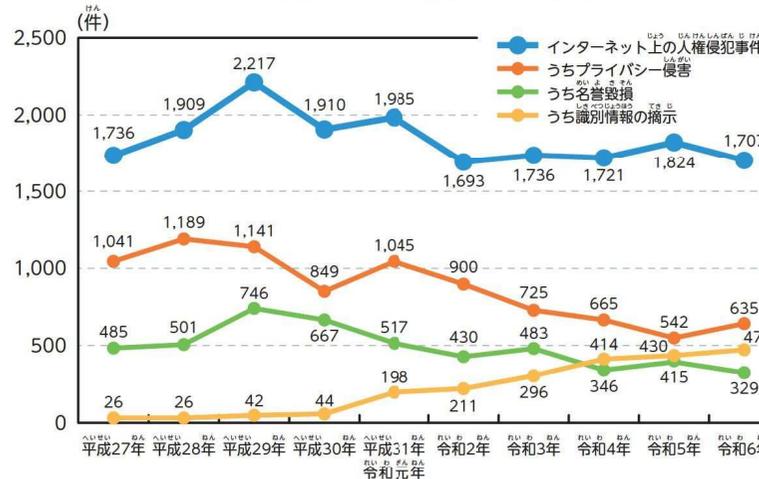


そう思う人もいるかもしれないね。でも、今でもインターネットでは、部落差別をはじめ、いろんな差別的な言葉や考えが広がっているんだ。インターネットには正しい情報もあるけれど、間違った情報もたくさんあるよね。間違った情報を信じてしまったら、差別や偏見が広がってしまうこともある。学校で正しい情報や知識を学んだり、差別をなくすにはどうしたらいいかをみんなで考えたりする時間をもつことは、とても大切なことなんだよ。

下のグラフを見てみよう。インターネット上の人権侵害(人権を大切にしないこと)の件数がかいてあるね。



インターネット上の人権侵害情報に関する人権侵犯事件(新規開始)



出典:「令和6年における「人権侵犯事件」の状況について」(法務省)
※識別情報の摘示とは、特定の地域が同和地区である、又はあったと指摘するものです。



黄色い線がだんだん上に伸びてきているね。

この黄色い線は、部落差別につながる情報などをインターネット上に発信していることを意味しているよ。

部落差別につながる情報? どういうことかな?



では、インターネット上で、どのように発信されているか見てみよう。

② インターネットによる部落差別(同和問題)

インターネット(SNS)では匿名で書き込みができるから、同和地区に関する間違った情報やうわさ、そこに住んでいる人や出身者などを傷つける差別的な書き込みなどが発生しているんだ。



現状

◆◆は部落出身者

●●地区は同和地区

えっ、どうしてそんなこと言うの？

そうなんだ。みんなにも教えよう。

へえ。知らなかった。そうなんだ。もっと調べてみよう。

それは正しくないよ、止めて！

間違った情報を広げないようにしよう。

差別に気づいたら声をあげよう。

正しく学んで、間違った情報を見極める力を身につけよう。

傷ついて苦しいときは安心できる人に相談しよう。



わたしたちにできることって何があるかな？

できること

とめる

行動する

学ぶ

相談する

間違った情報を広げないようにしよう。

差別に気づいたら声をあげよう。

正しく学んで、間違った情報を見極める力を身につけよう。

傷ついて苦しいときは安心できる人に相談しよう。

部落差別をはじめ、あらゆる人権侵害は絶対に許されません！

わたしたち一人ひとりが学び続けることで、間違った情報に気づくことができます。「おかしい」と気づいたら、その気づきを周りに伝えましょう。市役所でも、さまざまな人権相談を行っています。「誰かのこと」ではなく「自分のこと」ととらえて、あらゆる差別をなくすために行動していきましょう。